

## 2021 年度活動概要

## 学習者要因研究会

### 1. 研究テーマ

「JACET 学習者要因研究会」では、第二言語・外国語学習における様々な「学習者要因」や「個人差」(individual differences)に焦点を当て、研究活動を行っている。特に、学習者の認知・学習スタイル、言語学習ストラテジー、モチベーション、ビリーフなどについて、調査・研究を行い、学習者をより多面的に理解し、より効果的な授業及び指導法を提案することを目指している。

### 2. 活動内容（月例会開催場所は通常、東洋大学白山キャンパス）

コロナ禍の影響もあり、今年度も引き続き ZOOM による研究会を開催し、様々なトピックについてワークショップ及び研究発表を開催した。

(1) 5月22日（土）14:00-16:00

① "Instigating changes to an ER program" by Graham Robson (Toyo Univ.):

② "Sharing ideas and resources for online teaching" by Sarah Holland (Toyo Univ.) & Chiyo Hayashi.

(2) 12月18日（土）14:00-16:00

① "Imagine Testing English Literature Imaginatively: Creative Reading Assessment" by Sarah Holland (Toyo Univ.)

② 「SDGs とジェンダー問題を取り入れた英語の授業」(Teaching SDGs and gender issues in EFL classrooms) by Reiko Yoshihara (Nihon Univ.)

(3) 3月5日（土）14:00-16:00

① My Podcasting Practice in Research and Teaching by Matt Turner (Toyo Univ.)

② Entertaining and Informing Students during Lunchtime by Graham Robson (Toyo Univ.)

### 3. LD SIG Web ジャーナル

今年度のジャーナルの刊行は延期し、来年度に合併号として刊行する。